

1 策定の経緯と方法 P1~3

策定の経緯 「墨田区広報広聴戦略プラン」の期間終了に伴い、これまでの成果と課題等を踏まえて新たな計画を策定します。
位置づけ 「墨田区基本構想」と「墨田区基本計画」を踏まえて「広報広聴領域における施策等の推進を図ることをめざします。
計画期間 墨田区基本計画の計画期間と同じく、令和4年度から令和7年度までの4年間とします。
策定体制 区が主催する会議、ワークショップ等の場で聴取した区民からの意見、有識者等による提言等を踏まえて、墨田区シティプロモーション戦略プラン推進本部を組織して検討を進めてきました。

2 現状と課題 P4~17

これまでの取組と成果
イメージアップ 集中プロモーション(北斎、オリパラ気運醸成等)など
シビックプライド醸成 区民参加型事業の実施、発信コンテンツの工夫 など
スタッフプライド醸成 職員広報力向上研修、プロモーションサポート事業 など
墨田区の現状
・シティプロモーションに関するアンケート
・区民による主な意見(ワークショップ、会議、アンケート等)
・職員による主な意見(ワークショップ)
・有識者による取組方針、評価方法の見直し等、各種提言
今後の方向性
・シビックプライドの醸成をメインとして展開を進める
・取組成果の評価方法を改めて検討する
・区民・全庁職員が一体となって取り組む
・区民との信頼関係を一層高められるように区の情報発信を行っていく など

4 評価 P36

シビックプライドの醸成について (令和3年度) (令和7年度)
成果指標 現状値 目標値
区に対する愛着度 XX% XX%
区に対する誇り度 XX% XX%
区の推奨度 XX% XX%
伝え合いの活性状況について (令和3年度) (令和7年度)
成果指標 現状値 目標値
区民が情報発信したいと思ったか XX% XX%
区民が情報発信を行ったか XX% XX%

5 推進体制 P37

今後は、区民、事業者など、地域の様々な主体と共に取り組むシティプロモーションを展開し、互いに発信力を高めていきます。区は全庁体制で推進するとともに、庁内事業サポート活動の拡充や地域との広報連携を促進して、各部門の連携を高め、シティプロモーションに対する一層の機運醸成を図っていきます。

3 シティプロモーション戦略 P18~35

墨田区におけるシティプロモーションの目的と方針及び戦略について

【目的】 地域力の向上のために 持続的にシビックプライドを醸成していくこと

墨田区のシティプロモーションは、すみだの地域力が一層高められるように、区民の地域に対する愛着と誇り(シビックプライド)を高めていくことを目的に実施します。そのために、これまで墨田区が大切にしてきた、まちづくりに必要な「知る力」「つながる力」「行動する力」の3つの力のうち、「知る力」を大きくしていく活動に注力していきます。「知る力」が大きくなることで、「つながる力」「行動する力」も拡大し、シビックプライドの醸成につながっていくと考えています。
区民、事業者、区などの主体が、互いにつながりを深めて、力を合わせ、共に支え合う地域力を活かしたシティプロモーションの推進によって、基本計画に掲げる「すみだの夢」実現を加速させていきます。

区民、事業者、区などの主体が、互いにつながりを深めて、力を合わせ、共に支えあう
地域力を活かしたシティプロモーションの推進

目的と今後の方向性を踏まえて、2つの視点で戦略を進めます

【戦略の視点1】 各主体の広報活動を活性化して、まちの魅力の伝え合いの好循環を創出する

区民、事業者、区(広報広聴担当・各課)等の多様な主体が、3つの要素で広報活動の活性化を図り、活動やまちの魅力の伝え合いが生まれていくように取り組みます。

<活性化に必要な3つの要素>
地域情報を発掘して磨き上げる 共感の輪を広げる プロモーション媒体を有効活用する

伝えあいの好循環を創出し、区民のまちへの愛着・誇り(シビックプライド)を醸成していく

こうして、区民、事業者、区など様々な主体が、「自分の暮らすまちのために、自ら発信したい」という想いや、地域への愛着と誇りを高めていき、より磨き上げられたまちの魅力を伝え合っていくすみだの日常をめざします。

【戦略の視点2】 職員一人ひとりが区民目線に立った情報の発信と共有に努めて、信頼関係を一層高める

区民目線に立った情報の発信と共有によって、区民と区の信頼関係を一層高めるために、職員の広報広聴マインドの向上、スタッフプライドの醸成等について、広報広聴の観点から全庁で取り組みます。

さらに、【戦略の視点1】における、各主体の広報活動の活性化を支える基盤としての役割も担います。

